

各地の状況

北海道



北海道の景況は、輸出がやや弱含んでいるものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、持ち直し。

個人消費は、記録的大雨に伴う客数の減少などから百貨店販売が減少したものの、新型車投入効果から乗用車販売が増加するなど、持ち直し。住宅建築は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少するなど、減少傾向。設備投資は、観光客受入態勢強化に向けた投資着工がみられるなど、持ち直し。公共工事は、災害復旧工事の反動により市町村が減少するなど、減少傾向。輸出は、ホタテガイが増加したものの、自動車の部分品、船舶が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、窯業・土石製品が増加したものの、石油製品、電気機械が減少するなど、横這い。観光は、外国人客が増加するなど、好調。雇用は、人手不足が続き、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられているが、地震災害の影響が懸念される。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。